

IAR システムズ®

ライセンス ガイド



著作権事項

2011–2014 IAR Systems AB.

本書のいかなる部分も、IAR システムズの書面による事前の同意なく複製することを禁止します。本書で解説するソフトウェアは使用許諾契約に基づき提供され、その条項に従う場合に限り使用または複製できるものとします。

免責事項

本書の内容は予告なく変更されることがあります。また、IAR システムズは、その内容についていかなる責任を負うものではありません。本書の内容については正確を期していますが、IAR システムズは誤りや記載漏れについて一切の責任を負わないものとします。

IAR システムズおよびその従業員、契約業者、本書の執筆者は、いかなる場合でも、特殊、直接、間接、または結果的な損害、損失、費用、負担、請求、要求、およびその性質を問わず利益損失、費用、支出の補填要求について、一切の責任を負わないものとします。

商標

IAR Systems、IAR Embedded Workbench、C-SPY、visualSTATE、The Code to Success、IAR KickStart Kit、I-jet、I-scope、IAR および IAR システムズのロゴタイプは、IAR Systems AB が所有権を有する商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Adobe および Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

その他のすべての製品名は、その所有者の商標または登録商標です。

改版情報

第4版：2014年11月

部品番号：LG_LMS2-4-J

内部参照：LS 2.1x, ISUD.

目次

はじめに	5
本ガイドの対象者	5
このガイドの概要	5
その他の情報	6
表記規則	6
表記規則	7
概要	9
IAR システムズのライセンス登録のしくみ	9
ライセンスのタイプ	10
IAR License Manager の概要	10
IAR License Manager の概略について	10
ライセンスウィザードの概略	10
ネットワークライセンス	10
異なるバージョンのライセンスサーバの使用	11
IAR ライセンス サーバ パッケージ	11
IAR システムズ製品	11
コンピュータ承認を持つクライアント	12
システム要件	12
ライセンスサーバのネットワーク要件	12
ネットワーク ライセンスを使用した製品の インストール	15
ネットワークライセンスを使用した製品のインストール	15
IAR License Server のインストール	16
ライセンスのアクティベーション	20
クライアントコンピュータへの IAR システムズ製品の インストール	24

ライセンス管理	27
ライセンスの管理	27
ある製品の異なるライセンスの切り替え	27
コンピュータ承認の製品のチェックアウト	28
コンピュータ承認の最大数	28
オフライン時のライセンスのアクティベーション	28
オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する	33
手動によるネットワークライセンスの選択	34
ネットワークライセンスを使用する製品のアップデート	35
ネットワーク ライセンスへのユーザの追加	37
ネットワークライセンスの移動	37
手動によるライセンスサーバの起動および停止	38
ネットワークライセンスのユーザグループの予約	39
ライセンスサーバのアクティビティのロギング	40
ロギングの有効化	41
ログファイルのサイズの指定	41
ログファイルのバックアップ	41
ログファイルのバックアップの無効化	42
ログファイルのフォーマット	42
IAR License Manager に関するリファレンス情報	45
リファレンス情報	45
IAR License Manager のメインウィンドウ	45
[使用可能な更新] ダイアログボックス	49
[ライセンス更新のチェック] ダイアログボックス	50
[ライセンス詳細] ダイアログボックス	52
[サーバ] ダイアログボックス	54
ライセンスの概念	57
索引	59

はじめに

ライセンスガイドをご利用いただきありがとうございます。本書には、ネットワークライセンスを使用した IAR システムズ製品をインストールする方法と、ライセンスの管理方法に関する詳細な情報が記載されています。また、IAR License Manager についての詳細なリファレンス情報も入手できます。

モバイルまたは PC 固定のシングルユーザライセンスを使用する IAR システムズ製品のインストール方法については、製品に同梱されているインストールとライセンス・クイックリファレンスブックレットを参照してください。

本ガイドの対象者

本ガイドの対象者は以下のとおりです。

- ネットワークライセンスをインストールしようとしており、インストールとライセンスについてクイックリファレンスのブックレットよりも詳しい情報を必要としている。
- ネットワークライセンスを持っており、ライセンスサーバをインストールしようとしている。
- 既存のライセンスをアップグレードしようとしている。
- ライセンスを別のコンピュータに移転する必要がある。
- IAR License Manager を使用しようとしている。

このガイドの概要

本ガイドは以下の章で構成されます。

- **概要**は、インストールおよびライセンスの手順に関する一般的な概要と、さまざまなライセンスのタイプの違いについて、ネットワークライセンスに焦点を当てて説明します。
- **ネットワークライセンスを使用した製品のインストール**は、マルチユーザ環境においてライセンスサーバソフトウェアとクライアントソフトウェアの両方をインストールする方法をステップごとに説明します。この章では、ライセンスサーバと IAR システムズ製品クライアントの両方をアップグレードする方法についても解説します。

- **ライセンス管理**では、ネットワーク ライセンスの一般的なタスクを実行する方法をステップごとに説明します。
- **IAR License Manager に関するリファレンス情報**では、ライセンスを管理するツールの IAR License Manager に関するリファレンス情報を提供します。
- **ライセンスの概念**は、一般的なライセンスに関する用語の一覧とその説明です。

その他の情報

インストールやライセンスに関して、本ガイドで質問の回答や問題の解決が得られなかった場合、以下の方法があります。

- リリースノートを読んで、本ガイドに記載されていない可能性のある最新情報があるか確認します。リリースノートは、インフォメーションセンタおよび製品インストール用メディアにあります。
- IAR システムズの Web サイト (www.iar.com/jp) にある技術サポートページのテクニカルノートを参照します。
- 技術サポートについては、IAR システムズの技術サポートまでご連絡ください。テクニカルサポートへの連絡方法は、IAR システムズの Web サイト (www.iar.com/support) をご覧ください。

ライセンス番号、ご利用のライセンス ロックのタイプ、製品のお買い上げ先と購入日、問題の詳細をご用意ください。

表記規則

IAR システムズのドキュメントでプログラミング言語 C と記述されている場合、特に記述がない限り C++ も含まれます。

製品のインストール内のディレクトリについて言及する場合 (doc など)、たとえば以下のようにその場所のフルパスを前提とします。

```
c:\Program Files\IAR Systems\Embedded Workbench 6.n\cpuname\doc
```

または

```
c:\Program Files\IAR Systems\visualSTATE 7.n\doc.
```

表記規則

IAR システムズのドキュメントセットでは、次の表記規則を使用します：



スタイル	用途
computer	<ul style="list-style-type: none"> ソースコードの例、ファイルパス コマンドライン上のテキスト 2進数、16進数、8進数
<i>parameter</i>	パラメータとして使用される実際の値を表すプレースホルダ。たとえば、 <i>filename.h</i> の場合、 <i>filename</i> はファイルの名前を表します。
[option]	コマンドのオプション部分。
[a b c]	代替の選択肢を持つコマンドのオプション部分。
{a b c}	コマンドの必須部分に選択肢があることを示します。
太字	画面で表示されるメニュー、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス の名前を示します。
<i>斜体</i>	<ul style="list-style-type: none"> 本ガイドや他のガイドへのクロスリファレンスを示します。 強調。
...	3点リーダは、その前の項目を任意の回数繰り返せることを示します。
	開発やプログラミングについてのヒントを示します。
	ワーニングを示します。

表 1: 本ガイドで使用されている表記規則

概要

本章では、IAR システムズのライセンス システムの概要を説明します。インストールおよびライセンスを有効化する手順の概要と、さまざまなライセンスのタイプについて説明します。

IAR システムズのライセンス登録のしくみ

各 IAR システムズ製品にはソフトウェアライセンスが付属しています。

IAR システムズ製品をインストールした後に初めて起動する際、ライセンス番号を入力してライセンスを登録することにより、ライセンスを有効化します。ライセンス ウィザードに従って、プロセスを進めます。



製品パッケージの CD/DVD ケースにライセンス番号があります。自動的に有効化すると、スタートアップライセンスが取得できます。これはインストール直後から製品の使用を開始でき、30 日間有効です。

購入が完了すれば、永久ライセンスを有効化できるようになります。購入した製品に応じて、1 年間は無料でアップデートおよび優先技術サポートを受けられます。

IAR システムズ製品とともにライセンス マネージャがインストールされ、ライセンスを容易に管理できます。IAR License Manager の使用方法については、27 ページの [ライセンス管理](#) を参照してください。

ライセンスのタイプ

以下の3種類の永久ライセンスがあります。

- **モバイルライセンス**は、 dongle (ハードウェア ロック) にロックされたシングルユーザ ライセンスです。
- **PC 固定ライセンス**は、ソフトウェアがインストールされているコンピュータに固定された、シングルユーザ ライセンスです。
- **ネットワークライセンス**は、複数ユーザ向けです。

本ガイドでは、ネットワーク ライセンスとその管理方法を説明します。モバイル ライセンスと PC 固定ライセンスのタイプについては、製品パッケージに付属のクイックレファレンスのブックレットを参照してください。

IAR License Manager の概要

ここでは、IAR License Manager の概要を説明します。

IAR LICENSE MANAGER の概略について

IAR License Manager は、IAR システムズ製品や IAR License Server をインストールすると自動的にインストールされるプログラムで、これを使用してライセンスを管理できます。

IAR License Manager は、特定のインストール用ディレクトリに対してローカルであり、このバージョンのライセンス取得システムを使用する同じディレクトリにインストールされるすべての IAR システムズ製品を検出します。

IAR License Manager は、Windows の [スタート] メニューまたは IAR システムズ製品の [ヘルプ] メニューから起動します。

ライセンスウィザードの概略

ライセンスウィザードは、ライセンスの有効化プロセスをステップごとに案内します。有効なライセンスを持たない製品がインストールされている場合、IAR システムズ製品を起動するとこれが自動的に起動します。IAR License Manager の [ライセンス] メニューからも起動できます。

ネットワークライセンス

ネットワークライセンスは、ライセンスサーバコンピュータ上にあるマルチユーザ ライセンスです。ライセンス サーバ コンピュータとは、IAR ライセンス サーバがインストールされた PC のことです。IAR システムズ製品の個々

のインストールは、同じネットワーク内の他のコンピュータ（クライアント）にインストールされます。

ネットワークライセンスによって、ネットワーク上のどのクライアントコンピュータからも IAR システムズ製品が使用可能になります。ネットワークライセンスでは最大同時使用ユーザ数内での使用が可能で、ライセンスサーバで現在の同時使用ユーザ数が監視されます。

ネットワークライセンスは、ライセンスサーバがインストールされるコンピュータにロックされます。これはコンピュータ自体か、装着された dongle です。dongle の場合、ライセンスサーバを異なるサーバコンピュータに簡単に転送できます。

ライセンスサーバは汎用であり、インストールするすべての IAR システムズ製品で使用できます。

異なるバージョンのライセンスサーバの使用

IAR システムズ製品には、IAR License Server のバージョン 2.x が必要です。IAR Embedded Workbench の一部の製品では、ライセンスサーバのバージョン 1.4x またはそれ以前のバージョンが必要です。仮想マシンを使用しない限り、新しいサーバと旧バージョンのサーバは、同じコンピュータ上で共存できません。

IAR ライセンス サーバ パッケージ

ネットワークライセンスを注文すると、以下を受け取ります。

- IAR License Server が入ったインストール用メディア 1 枚。
- Dongle 1 個（明示的に発注した場合のみ）。
- IAR システムズ製品が入ったインストール用メディア 1 枚。

ライセンスサーバは次の 2 つのコンポーネントからなります：

- ライセンスの管理に使用する IAR License Manager。また、IAR License Manager は、クライアントコンピュータ上でのライセンスを管理するために、IAR システムズ製品とともにインストールされます。
- Sentinel RMS License Manager が実際のライセンスサーバです。

ライセンスサーバは、ライセンスサーバに使用するコンピュータ上にインストールします。

IAR システムズ製品

IAR システムズ製品は、必要な数のクライアントコンピュータにインストールできます。

ネットワークライセンスを使用して、コンパイルやリンクなどライセンスが必要なアクティビティを実行するたびに、IAR システムズ製品はライセンスサーバから実行する権限を要求します。

アクティビティが完了すると、ネットワークライセンスの使用許可は 30 分間そのクライアントにロックされたままになり、その後は別のクライアントに解放されます。IAR License Manager では、ライセンスの状態を参照できます。

コンピュータ承認を持つクライアント

ネットワークライセンスには、ライセンスサーバに接続せずに日数限定で IAR システムズ製品を使用できるコンピュータ機能があります。詳細については、28 ページの *コンピュータ承認の製品のチェックアウト* を参照してください。

システム要件

システム要件については、以下を参照してください。

- クライアントコンピュータについては、インストール用 CD のリリースノートを参照してください。
- IAR License Server コンピュータ（ネットワークライセンスのみ）の場合は、IAR License Server のインストール用 CD のリリースノートを参照してください。

注：製品をインストールして有効化するには、コンピュータの管理者権限を持ち、インターネットに接続している必要があります。IAR License Manager がインターネットに接続できない場合は、「28 ページの *オフライン時のライセンスのアクティベーション*」を参照してください。

ライセンスサーバのネットワーク要件

ネットワークライセンスを持っている場合、それぞれのクライアントのインストールでサブネット上のライセンスサーバが自動的に検索されます。

クライアントとサーバの通信は、IP ネットワーク上のポート 5093 で UDP プロトコルにより行われます。

ライセンスサーバコンピュータ上に Windows Firewall などのファイアウォールかネットワークブリッジがインストールされている場合、UDP パケットがサーバポート 5093 を経由するように設定されている必要があります。

ブロードキャスト機能が使用できないか、ライセンスサーバが異なるサブネット上にあるネットワーク構成では、クライアントから手動でサーバを指定する必要があります。これについて詳しくは、54 ページの *[サーバ] ダイアログボックス* を参照してください。

また、ポート 5093 の UDP ブロードキャストパケットは、IAR システムズ製品の起動時に必ず使用され、IAR License Manager が実行している限り、定期的にそうなります。ネットワーク上の使用可能なライセンスサーバを検索するために、ブロードキャストが行われます。ライセンスされた製品の使用中は、ブロードキャストは行われません。

IAR License Manager は、通信プロトコル https を使用して IAR システムズからライセンスキーを取得します。インターネットのプロキシについては、Windows の設定が使用されます。

ネットワーク ライセンスを使用した製品のインストール

本章では、システム管理者またはネットワーク管理者向けに、指定したサーバへの IAR License Server のインストールおよびクライアントコンピュータへの IAR システムズ製品のインストール方法について説明します。

ネットワーク ライセンスの詳細については 10 ページの **ネットワーク ライセンス** を参照してください。

ネットワークライセンスを使用した製品のインストール

ネットワーク ライセンス付き製品のインストール方法には、次の 3 段階の手順をお勧めします。

- 1 IAR ライセンス サーバをサーバ コンピュータにインストールします。
- 2 サーバ上の IAR License Manager を使用して、ライセンスを有効化して登録します。
- 3 ネットワークライセンスを使用して IAR システムズ製品をクライアントコンピュータ上にインストールし、起動します。

注: IAR システムズの製品をインストールするには、システムに対して管理者権限が必要です。

重要: すでにインストールされた IAR License Server にネットワークライセンスを追加する場合は、「20 ページの **ライセンスのアクティベーション**」の手順を参照してください。下記のインストール手順は無視してください。

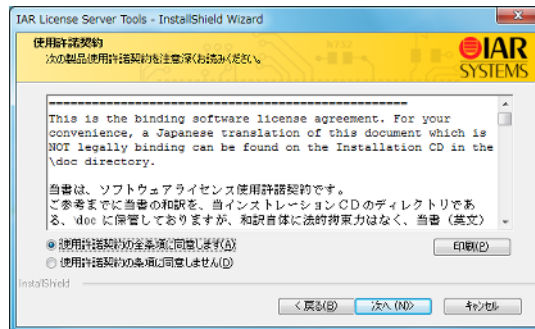
IAR LICENSE SERVER のインストール

注： ドングルを使用する場合を除いて、最初からライセンス サーバにどのコンピュータを使用するか決めておくことが重要です。これはライセンス サーバがそのコンピュータにロックされるためです。

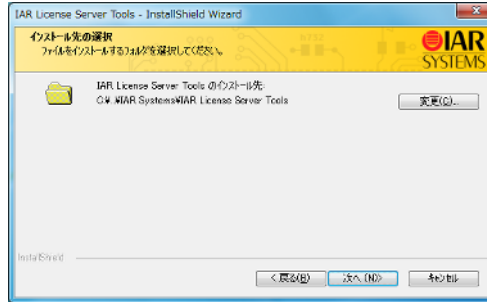
- 1 ライセンス サーバ ソフトウェアに適したサーバ コンピュータを選択します。システム要件については、ライセンス サーバのインストール用メディアのリリースノートをご覧ください。
- 2 ドングルをすべて外します。
- 3 IAR ライセンス サーバのインストール用メディアを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。起動しない場合、インストール用メディアから autorun.exe プログラムを実行します。
- 4 **[IAR License Server のインストール]** をクリックします。これによって、最初に IAR License Manager がインストールされ、すぐ後に続いて Sentinel RMS License Manager がインストールされます。



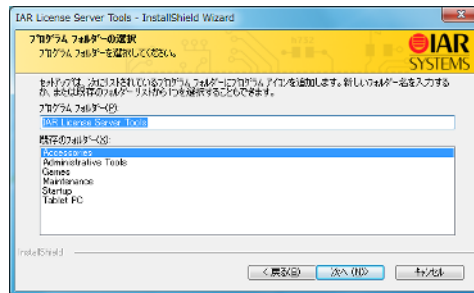
- 5 **[次へ]** をクリックして、ライセンス契約を読んで理解したことを確認します。



- 6 IAR License Manager をインストールする先のフォルダを選択します。



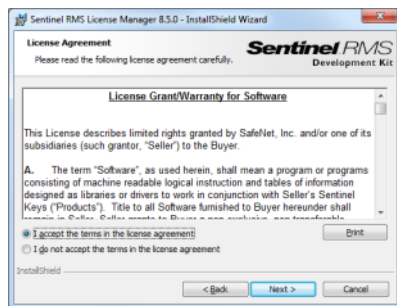
- 7 [スタート] メニューでプログラムアイコンのフォルダを選択します。



- 8 IAR License Manager がインストールされたら、Sentinel RMS License Manager のインストールが開始されます。



- 9 [次へ] をクリックして、RMS ライセンス契約を読んで理解したことを確認します。



- 10 お客様の情報を入力します。



- 11 ライセンス サーバをインストールする先のフォルダを選択します。デフォルトのディレクトリは C:\Program Files\Common Files\SafeNet\Sentinel\RMS License Manager です。



- 12 [設定タイプ] ページで、[Complete] または [Custom] を選択します（デフォルトでは、これによってドングルドライバはインストールされません）。



- 13 次のページで、ポート 5093 の UDP トラフィックをブロック解除する必要があります。これは、クライアント コンピュータがサーバにアクセスするために必要です。



- 14 [インストール] をクリックして、Sentinel RMS License Manager をインストールします。

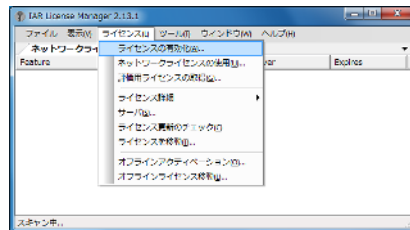


通常は、ライセンスサーバを手動で起動する必要はありません。インストール後に自動的に起動して、コンピュータを再起動するたびに再起動します。何らかの理由でライセンスサーバを手動で起動しなければならない場合は、38 ページの *手動によるライセンスサーバの起動および停止* を参照してください。

ライセンスのアクティベーション

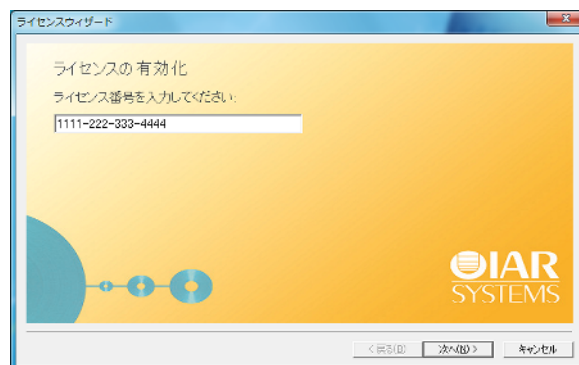
ネットワークライセンスを使用する前に、有効化する必要があります。

- 1 ライセンスサーバコンピュータ上で、Windows の **[スタート]** メニューから **[IAR License Manager]** を起動します。
- 2 **[ライセンス]** > **[ライセンスのアクティベーション]** を選択します。

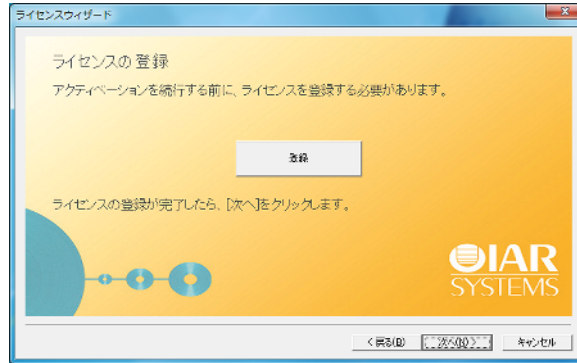


または、IAR License Manager がインターネットに接続できない場合、**[ライセンス]** メニューから **[オフラインアクティベーション]** を選択して、ライセンス番号を入力すればライセンスを更新できます。

- 3 ドングルを持っている場合は、コンピュータに取り付けてください。
- 4 ライセンス番号を入力して、**[次へ]** をクリックします。ライセンス番号は CD/DVD ケースに記載されています。



- 5 次のステップで **[登録]** をクリックします。



- 6 License Wizard が IAR システムズの登録 Web ページを開き、そこでライセンスを登録します。



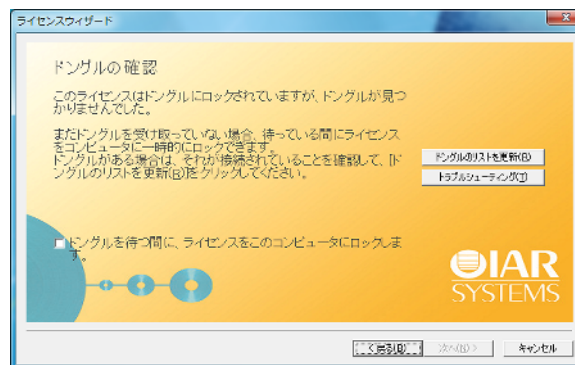
登録フォームの入力が完了したら、指定したアドレスに電子メールが送信されます。電子メールが届いたらそれを開き、メールにあるリンクをクリックして登録を確認します。これで登録の手続きが完了しました。

License Wizard で **[次へ]** をクリックし、ライセンスのアクティベーションに進みます。

- 7 [次へ] をクリックして、使用するコンピュータ上でライセンスを有効化することを確認します。



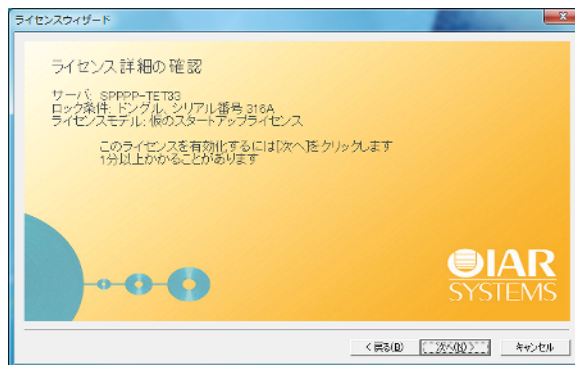
- 8 ネットワークライセンスで dongle を使用している場合、ライセンスを dongle にロックする必要があります。(ライセンスで dongle を使用しない場合は、この手順は省略してください)。dongle をコンピュータに取り付けて、他の dongle が取り付けられていないことを確認します。



または、まだ dongle を受け取っていない場合、ライセンスを一時的にコンピュータにロックすることができます。対応するチェックボックスを選択します。

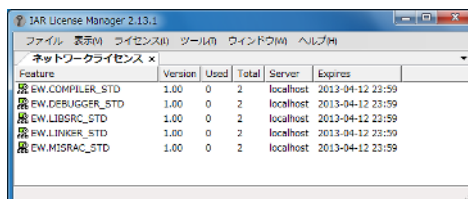
注: 製品パッケージに付属のものではない別の dongle にライセンスをロックすることは可能です。たとえば、同じ dongle にいくつかの製品をロックする場合などです。その場合、結果を慎重に考えてください。一度 dongle を確認すると、ロックを元に戻すことはできません。

- 9 License Wizard がライセンスの詳細を確認します。[次へ] をクリックして有効化を完了します。



注: 永久ライセンスに、購入したライセンスには含まれない機能の期間限定評価版が含まれていることがあります。

- 10 IAR License Manager で、[表示] > [ネットワークライセンス] を選択して、インストールしたライセンスを表示します。



- 11 IAR License Manager を閉じて構いません。サーバがバックグラウンドで実行され、いつでもマネージャを再び起動してライセンスの閲覧や管理ができます。

- 12 永久ライセンスが使用可能になると、電子メールで通知が届きます。

永久ライセンスを取得するには、ライセンスサーバコンピュータ上で次の手順を実行してください。

- 1 Windows の [スタート] メニューから IAR License Manager を起動します。
- 2 [ライセンス] メニューで、[ライセンス更新のチェック] を選択して指示に従います。

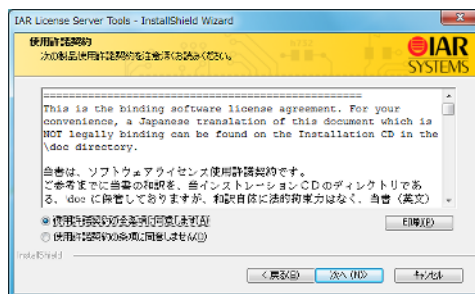
または、IAR License Manager がインターネットに接続できない場合、[ライセンス] メニューから [オフラインアクティベーション] を選択して、ライセンス番号を入力すればライセンスを更新できます。

クライアントコンピュータへの IAR システムズ製品のインストール

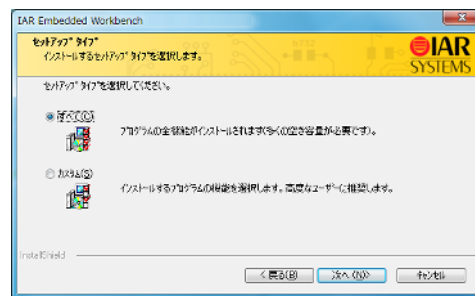
各クライアント コンピュータで以下の手順を繰り返してください。

新バージョンの製品（評価用バージョン）がすでにインストールされている場合、ステップ 8 に進んでください。

- 1 インストール用メディアを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。起動しない場合、インストール用メディアから autorun.exe プログラムを実行します。
- 2 [インストール...] をクリックして、インストールを開始します。
- 3 プロンプトに従ってライセンス契約を読み、同意してください。



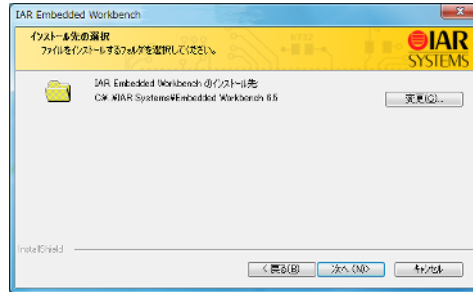
- 4 プロンプトが表示されたら、[Complete] または [Custom] を選択します。



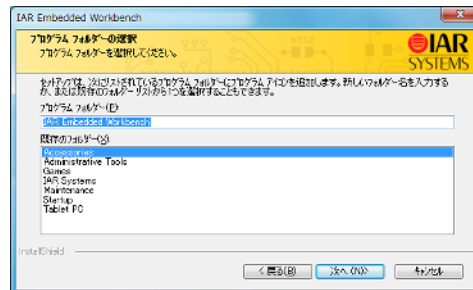
[Custom] を選択した場合、次のダイアログボックスでインストールするコンポーネントを選択します。

このステップは必ず該当するわけではありません。

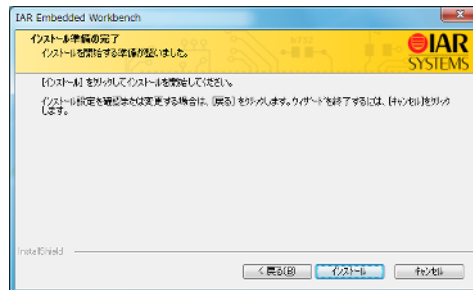
- 5 デフォルト インストールディレクトリを使用するか、希望するディレクトリを指定します。



- 6 Windows の [スタート] メニューで、IAR システム製品のスタートアイコンを配置するフォルダを選択します。



- 7 インストール用設定を見直して [インストール] をクリックし、プログラムファイルをインストールします。



これで IAR システムズ製品のインストールが終了しました。

IAR システムズ製品を実行可能にする各クライアントコンピュータ上で、上記の手順を繰り返してください。

8 クライアントコンピュータ上で最初に IAR システムズ製品を起動する際、ライセンスサーバが検出されて、それを使用するよう推奨されます。クライアントが自動的にライセンスサーバを検出しなかった場合、手動で指定できます (54 ページの [サーバ] ダイアログボックスを参照)。

9 これで IAR システムズ製品の使用を開始できます。

注: サイズに制限がある IAR Embedded Workbench のバージョンからアップグレードする場合、新しいバージョンを使用して初めてプロジェクトをビルドするときに **[すべてを再ビルド]** コマンドを必ず実行してください。

ライセンス管理

本章では、ライセンス管理に関連する一部のタスクの実行方法を説明します。

ライセンスの管理

ここでは、実行しなければならない可能性がある一部のタスクについて説明します。一部のタスクについては、ステップごとの説明もあります。

具体的には、以下の項目について説明します。

- ある製品の異なるライセンスの切り替え
- コミュータ承認の製品のチェックアウト
- コミュータ承認の最大数
- オフライン時のライセンスのアクティベーション
- オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する
- 手動によるネットワークライセンスの選択
- ネットワークライセンスを使用する製品のアップデート
- ネットワークライセンスへのユーザの追加
- ネットワークライセンスの移動
- 手動によるライセンスサーバの起動および停止

別のコンピュータへのライセンスの移動については、[クイックレファレンスのブックレット](#)も参照してください。

ある製品の異なるライセンスの切り替え

コンピュータにインストールされた同じ製品で複数のライセンスを使用することができます。最後に有効化されたライセンスが使用されます。旧バージョンのライセンスや別の類似製品、あるいはネットワークライセンスに切り替えるには、次の手順に従ってください。

- 1 IAR License Manager で、[表示] > [製品リスト] を選択して製品をダブルクリックし、[ライセンスの詳細] を表示します。
- 2 [選択したライセンス] ドロップダウンリストから、使用するライセンスを選択します。

コンピュータ承認の製品のチェックアウト

ネットワークサーバからライセンスをチェックアウトするには、次の手順に従います。

- 1 IAR License Manager を起動します。
 - 2 製品を右クリックして、[チェックアウト] を選択します。
 - 3 表示される [チェックアウト] ダイアログボックスで、コンピュータ承認により製品をチェックアウトする日数（最高 15 日）を指定します。
- これでライセンス サーバに接続されていなくても製品が使用できるようになりました。
- 4 コンピュータ承認の期限が切れる前に自動的に終了するには、製品を右クリックして [チェックイン] を選択します。

指定した日数が経過すると、ライセンスは自動的に返却されます。

コンピュータ承認の最大数

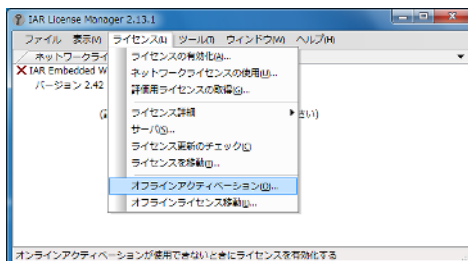
たとえば、コンピュータ承認の最大数をライセンス総数の 25% に設定するには、LSERVOPT 環境変数とライセンスサーバコンピュータの -com オプションを使用してください。

LSERVOPTS=-com 25

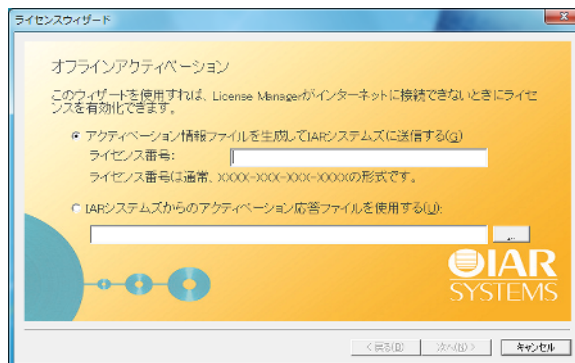
オフライン時のライセンスのアクティベーション

IAR License Manager がインターネットに接続できない場合にライセンスを有効化するには、次の手順に従います。

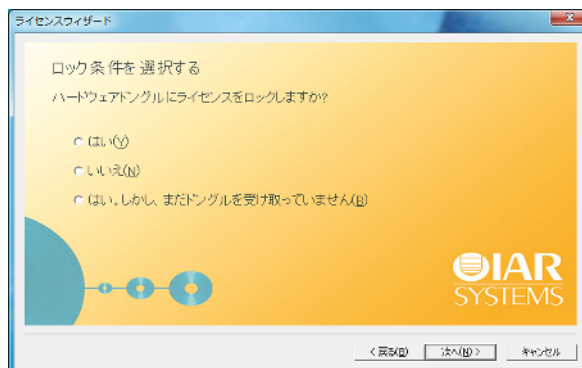
- 1 IAR License Manager で、[ライセンス] > [オフラインアクティベーション] を選択します。



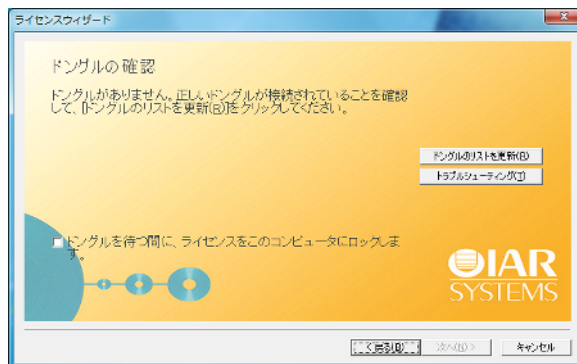
- 2 ウィザードが表示されたら、ライセンス番号を入力して有効化情報ファイルを生成して [次へ] をクリックします。



- 3 次のページで、ライセンスをコンピュータかドングルのどちらにロックするかを指定します。ライセンスをドングルにロックする必要があるがまだドングルを受け取っていない場合、[はい、でもまだドングルを受け取っていません] を選択します。こうすれば、ドングルを待つ間にライセンスを一時的にコンピュータにロックすることができます。

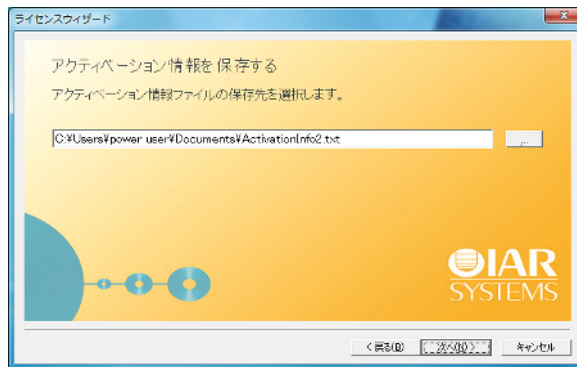


- 4 ライセンスを dongle に直接ロックする場合（前のページで **【はい】** を選択）、dongle を取り付けてから先に進むように指示があります。

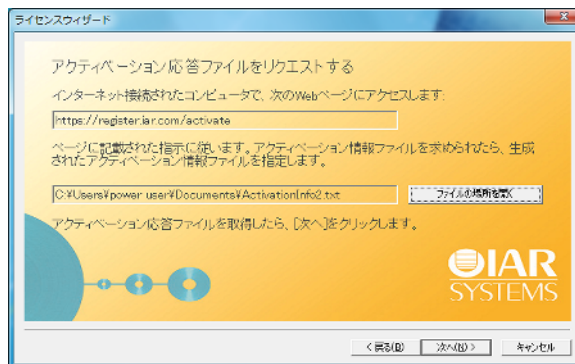


dongle を取り付けて、**【dongle のリストを更新】** をクリックします。

- 5 次に、有効化情報ファイルの保存先を指定します。



- 6 次に、ウィザードに URL(<https://register.iar.com/activate>) が表示されます。



- 7 インターネットに接続されているコンピュータで、その Web サイトを開きます。そのページから生成された有効化ファイルをアップロードできます。



- 8 ライセンスが未登録であれば、先に登録を済ませるように指示があります。

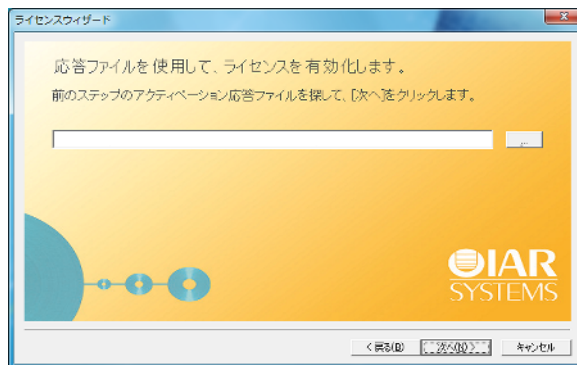


- 9 有効化プロセスの最後に、有効化応答ファイルをダウンロードすることができます。



ライセンスを使用するコンピューターにそのファイルを移動します。

- 10 ライセンスを使用するコンピュータ上で、ウィザードから [次へ] をクリックします。有効化応答ファイルを探して、[次へ] をもう一度クリックします。



これでライセンスが有効化されました。

- 11 ドングルをコンピュータに一時的にロックして、それからドングルを受け取った場合、オフライン有効化の手続きを繰り返しますが、ライセンスをドングルにロックするようにしてください。
- 12 ライセンスが IAR システムズから承認されたら、オフライン有効化をもう一度繰り返せば永久ライセンスが有効になります。

オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する

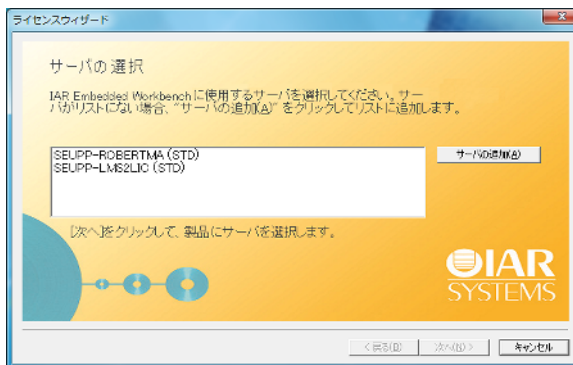
移動には、ライセンスの無効化と有効化を行います。この手続きはモバイルライセンスには該当しない点に注意してください。ライセンスの移動については、クリックリファレンスのブックレットを参照してください。

- 1 インターネットに接続されたコンピュータで、<https://register.iar.com/deactivate> にアクセスします。
- 2 無効化するライセンス番号を入力します。
- 3 応答として、無効化ファイルをダウンロードして入手します。このファイルをコンピュータに移動します。
- 4 IAR License Manager で、[ライセンス] > [オフラインのライセンス移動] を選択します。
- 5 表示されるダイアログボックスで、権限のファイルを探して [OK] をクリックします。無効化の確認ファイルが作成されます。

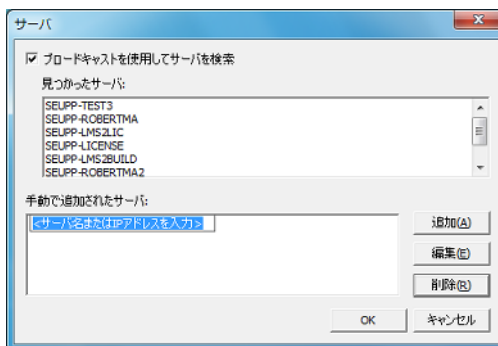
- 6 そのファイルをインターネット接続されたコンピュータに移動して、Web ページに戻ります。
- 7 無効化チケットをアップロードすると、ライセンスが別のコンピュータで有効化できるようになります。

手動によるネットワークライセンスの選択

- 1 IAR License Manager から、[ライセンス] > [ネットワークライセンスを使用] を選択してウィザードを開きます。
- 2 使用するサーバをリストから選択して、[次へ] をクリックします。



- 3 または、サーバがリストにない場合、[サーバを追加] をクリックします。表示されるダイアログボックスで、[追加] をクリックしてサーバ名または IP 番号を入力します。



注：間違ったサーバ名を入力すると、IAR License Manager の動作が遅くなる場合があります。

[OK] をクリックして、ウィザードに戻ります。

- 4 ウィザードで正しいサーバを選択して、[次へ] をクリックします。

ネットワークライセンスを使用する製品のアップデート

ネットワークライセンスを使用する製品をアップデートするには、次の3段階からなる手順に従います：

- 35 ページの *IAR License Server* のアップデート。このステップは、アップデート済みの *IAR システムズ* 製品のほかに、*IAR License Server* のアップデートを受け取った場合にのみ該当します。
- 35 ページの *ネットワークライセンスの更新*。
- 36 ページの *IAR システムズ製品の更新*。

製品のアップデートは、旧バージョンの製品がインストールされている同じコンピュータで実行されます。アップデートをインストールした後、同じライセンスタイプとライセンスロックを使用します。

IAR License Server のアップデート

ライセンスサーバのアップデートを受け取った場合、最新のライセンスサーバがインストールされているコンピュータ上で次の手順を実行してください。

注：インストールの手順によりライセンスサーバをシャットダウンし、すべてのネットワークライセンスが一時的に利用できなくなります。

セットアッププログラムによって、ライセンスサーバの旧バージョンがアンインストールされます。

「16 ページの *IAR License Server* のインストール」の手順に従います。

これで *IAR License Server* のアップデートが終了します。

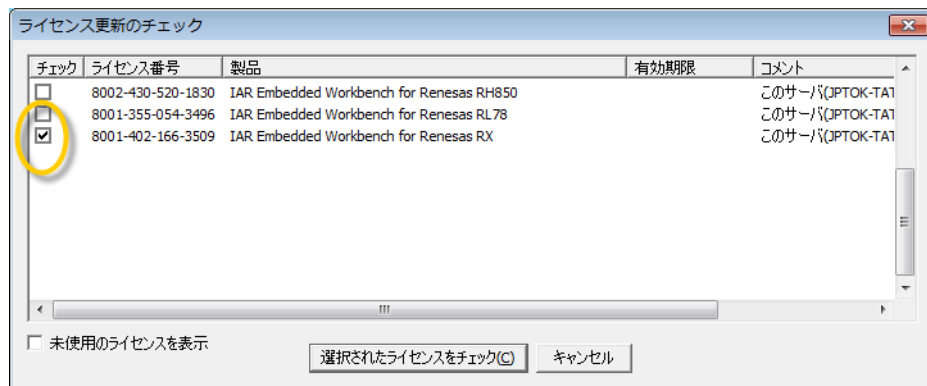
ネットワークライセンスの更新

製品のアップデートを受け取ると、ライセンスを更新する必要があります。

注：ライセンスの更新中は、ネットワークライセンスでコンピュータ承認をチェックアウトすることはできません。

- I ライセンスサーバコンピュータで *IAR License Manager* を起動します。

- 2 表示される [ライセンス更新のチェック] ダイアログボックスで、更新をチェックするライセンスを選択します。



[選択されたライセンスをチェック] をクリックします。IAR License Manager が IAR システムズにアクセスし、選択したライセンスに更新があるかどうかをチェックします。

- 3 [使用可能な更新] ダイアログボックスが表示され、使用可能な新しいライセンスのあるものが一覧表示されます。必ず更新するライセンスを選択して、[選択された更新] をクリックしてください。
- 4 クライアントコンピュータで IAR システムズ製品を再起動するか、IAR License Manager を起動して更新されたライセンスを検出する必要があります。これで更新が完了し、更新されたライセンスが使用可能になります。

IAR システムズ製品の更新

アップデートした IAR システムズ製品をクライアントコンピュータ上にインストールする前に、既存の製品インストールをアップデートして完全に置換するか、既存のインストールを保持したままアップデートを別のディレクトリにインストールするかを決定します。

複数のバージョンを同時に使用する場合、必ず新しいバージョンを別のディレクトリにインストールしてください。

既存のインストールを置換する場合は、以下のようにします。



- 既存のインストールで修正した製品ファイルは、すべてコピーを作成してください。こうしなければ、これらのファイルは上書きされます。独自のファイルはそのまま残ります。

- 現在のバージョンの製品をアンインストールします。
- IAR Embedded Workbench を使用している場合は、ランタイムライブラリのソースコードをアンインストールします（このステップは、そのようなソースコードが以前にインストールされている場合のみ該当します）。

以前のバージョンの IAR システムズ製品がインストールされているクライアントコンピュータごとに、24 ページのクライアントコンピュータへの IAR システムズ製品のインストールの手順に従ってアップデートを実行します。

これで更新は終了です。

ネットワーク ライセンスへのユーザの追加

ネットワーク ライセンスで許可されている同時使用ユーザ数が十分でない場合、ライセンスにユーザをさらに追加できます。これを行うには、ソフトウェア販売代理店か IAR システムズに連絡して、拡張版のネットワーク ライセンスを注文する必要があります。

購入が完了すると、電子メールによる通知が届きます。新しく購入した内容でライセンスを有効化するには、次のステップのいずれかを実行します：

- ネットワーク ライセンスの更新 — コンピュータ上で有効化されたすべてのライセンスについて更新をチェックします。たくさんのライセンスがインストールされている場合、時間が多少かかることがあります（ライセンス番号ひとつにつき約 1 分）。この場合、代わりに 2 番目の手順を実行した方が良いでしょう。
- ライセンスのアクティベーション — 特定のライセンスを更新。最初のライセンスが有効化されたときと同じライセンス番号を指定する必要があります。この方法の利点のひとつは、1 つのライセンス番号だけがチェックされることです。また、このオプションは、たとえばロック条件の変更などのために更新が失敗した場合にも使用できます。

ネットワークライセンスの移動

ネットワークライセンスは、ライセンスが dongle にロックされている場合にのみ、別のサーバコンピュータに移動できます。サーバコンピュータにロックされているネットワークライセンスを移動しなければならない場合は、IAR システムズまでご連絡ください。

たとえばサーバに不具合が生じた場合など、ネットワーク ライセンスを新しいライセンス サーバコンピュータに移動するには、以下のようにします。

- 1 「16 ページの *IAR License Server のインストール*」の説明に従って、IAR License Server を新しいコンピュータにインストールします。ライセンスの有効化や製品登録は必要はありません。
- 2 新しいライセンス サーバコンピュータに dongle を取り付けます。

- 3 ライセンス番号を使用し、IAR License Manager を起動して製品を有効化します (20 ページの *ライセンスのアクティベーション* を参照)。複数の製品がある場合、このステップをそれぞれのライセンス番号に対して繰り返す必要があります。
- 4 クライアント コンピュータで、IAR License Manager を起動してライセンス プロバイダとなる新しいライセンス サーバを選択します：
 - [ライセンス] > [ネットワーク ライセンスを使用] を選択します。
 - 製品を選択して、[次へ] をクリックします。
 - 新しいライセンスサーバを選択して、[次へ] をクリックします。これで、ライセンスサーバを新しいコンピュータに移動できました。

手動によるライセンスサーバの起動および停止

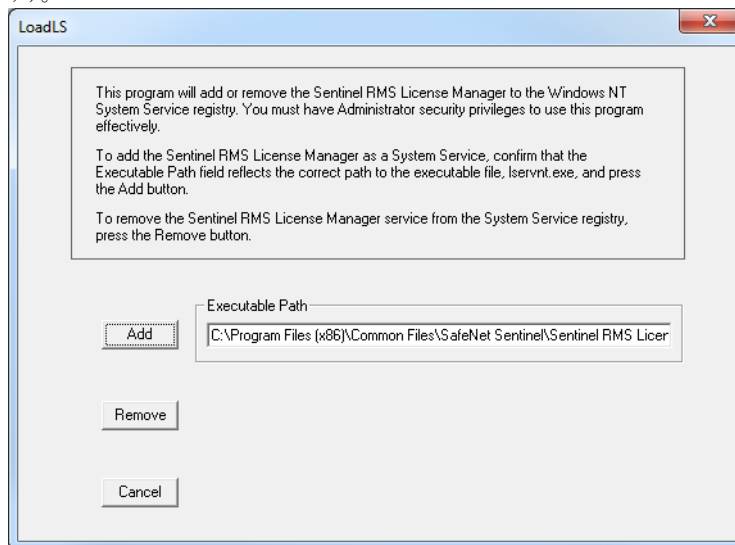
通常は、ライセンスサーバを手動で起動したり停止する必要はありません。コンピュータを起動すると、ライセンスサーバが自動的に起動されます。しかし何らかの理由で、手動により起動しなければならないこともあり得ます。

ライセンスサーバは Windows サービスとして実行します。実行中かどうかを確認するには、Windows のサービス リストをチェックできます。このリストを表示する方法は、使用する Windows のバージョンによって異なります。このサービスは、*Sentinel RMS License Manager* といいます。

このサービスの実行可能ファイルは、IAR License Server Tools のインストール中に Sentinel RMS License Manager をインストールした場所にあります。デフォルトのディレクトリは Windows のバージョンと言語により異なりますが、通常は次のようになります :C:\Program Files\Common Files\SafeNet\Sentinel\Sentinel RMS License Manager

このディレクトリに、サーバファイルがある winNT というサブディレクトリがあります。サーバ実行可能ファイルの名前は、Lservnt.exe です。これを

起動して停止するには、loadls.exe を実行します（管理者権限が必要です）。



サービスを起動または停止するには、[追加] または [削除] をクリックします。サービスがすでに実行中に間違えて [追加] をクリックしたり、サービスが実行中でないときに [削除] をクリックした場合、エラーメッセージが表示されます。

ネットワークライセンスのユーザグループの予約

ある機能を使用する独占的な権限を持ったユーザグループと、ある機能を使用できないグループを指定する予約ファイルを作成できます。

ユーザグループを予約するには、次の手順に従います。

- 1 テキストエディタを使用してユーザグループファイルを編集します。次のファイル構文を使用します：

```
feature_name, feature_version:group_name:reserved_tokens:user_1
... user_N
```

説明：

feature_name は、XXX.EW.COMPILER_STD などです。

feature_version は、1.01 などです。

<code>group_name</code>	は、グループを識別する名前です。
<code>reserved_tokens</code>	グループに予約されたライセンスユーザ数です。
<code>user_1...user_N</code>	スペースで区切られたユーザ名またはホスト ID のリストです。

たとえば、このファイルによって、ワークステーション PC-ADAM と PC-ADA のユーザにコンパイラとデバッガの機能に関して、独占的に 2 つのトークンを保持し、一方で PC-GUEST のユーザが指定の機能を一切使用できなくなります：

```
XXX.EW.COMPILER_STD,1.01:include_grp:2:$PC-ADAM $PC-ADA
XXX.EW.COMPILER_STD,1.01:exclude_grp:0:$PC-GUEST
XXX.EW.DEBUGGER_STD,1.01:include_grp:2:$PC-ADAM $PC-ADA
XXX.EW.DEBUGGER_STD,1.01:exclude_grp:0:$PC-GUEST
```

ライセンスには通常、数多くの機能があります。機能名とバージョンは IAR License Manager で見つかります。製品をダブルクリックして、**[ライセンスの詳細]** ダイアログボックスを開きます。

- このファイルを、たとえば C:\IARSystems\LicenseManagement\lreserv.txt というように保存します。
- ユーザグループファイルの目的の場所を設定するには、LSRESERV 環境変数を使用します。

次に例を示します。

```
LSRESERV=C:\IARSystems\LicenseManagement\lreserv.txt
```

- ライセンスサーバを再起動します。
- このライセンスの使用は、指定内容に従って制限されます。
 - グループに予約されたトークンの数がライセンスに許可されたユーザ数と同じ場合、グループ外部のユーザはライセンスを使用できません。
 - グループに予約されたトークンの数がゼロの場合、グループ内のユーザは誰もライセンスを使用できません。

ライセンスサーバのアクティビティのロギング

ライセンスサーバのアクティビティのロギングを有効化できます。これは通常、どのユーザがどのライセンスをどれだけ使用しているかを監視するときに便利です。

以下のタスクについて説明します：

- 41 ページのロギングの有効化
- 41 ページのログファイルのサイズの指定
- 41 ページのログファイルのバックアップ
- 42 ページのログファイルのバックアップの無効化
- 42 ページのログファイルのフォーマット

ロギングの有効化

ロギングを有効化するには、ライセンスサーバコンピュータ上で次の環境変数を設定します。LSERVOPTS=-1 path_to_log_file

次に例を示します。LSERVOPTS=-1 C:\ServerLog\logfile.txt

変更を有効にするには、ライセンスサーバを再起動する必要があります。

注：この環境変数がグローバルで設定されていると（Windows のシステムプロパティなどで）、他の製品も影響を受けることがあります。

ログファイルのサイズの指定

ログファイルの最大サイズを指定するには、-z オプションを使用します。サイズをバイトで指定するには、-z 2000（2000 バイト）、キロバイトで指定するには -z 2k（2 キロバイト）、メガバイトなら -z 2m（2 メガバイト）というようにします。

次に例を示します。LSERVOPTS=-z 2m -1 C:\ServerLog\serverlog.txt

ログファイルのバックアップ

ファイルのサイズが -z オプションで指定した最大値に達すると、ライセンスサーバは元のログファイルをバックアップファイルにコピー（名前の変更）します。これは同じファイル名ですが、2 桁の数字がファイル名に追加されています。元の名前を持ったファイルでロギングが続けられます。

次の例を考えてみます。

管理者がログファイルの最大サイズを 2 MB と指定しました。サイズが 2 MB に達すると、ライセンスサーバはログファイルの末尾にサフィックスを追加します。次に例を示します。serverlog.txt.00、serverlog.txt.01、serverlog.txt.02 から serverlog.txt.99 まで。この上限に達すると、ライセンスサーバは同じログファイル名を使用して 00 からバックアップファイルを生成し始めます。つまり、元のログファイルは上書きされます。さらに多くのログファイルが必要な場合、最初の 100 のログファイルを別の場所（内容を保存）にバックアップするよう自分でスクリプトを作成する必要があります。

ります。こうすれば、最初のログファイルが上書きされても問題ではなくなります。

ログファイルのバックアップの無効化

ログファイルの自動バックアップを無効化するには、ライセンスサーバコンピュータで `LSERVOPTS` 環境変数に `-x` オプションを追加します。

ログファイルのフォーマット

ログ情報は、次のフォーマットで各行に 1 エントリずつログファイルに記録されます。

エレメント	説明
Server-LFE	ライセンスサーバの <code>-lfe</code> オプションで指定されるユーザ定義のログファイル暗号化レベル。
License-LFE	ベンダ定義のログファイル暗号化レベル。これがゼロの場合、このエレメントによって Server-LFE がオーバーライドされます。
Date	エントリが作成された日付。フォーマットは次のようになります：曜日 月 日 時間 (hh:mm:ss) 年 (例：Wed Oct 10 08:40:46 2012)。
Time-stamp	エントリのタイムスタンプ。
Feature	機能名。
Ver	機能のバージョン。
Trans	トランザクションタイプ 0 はライセンス発行、1 は却下、2 は解放をそれぞれ示します。
Numkeys	現在のリクエスト / リリースの後で使用されているライセンス数。(暗号化レベルが 3 または 4 に設定されている場合、暗号化されます)。
Keylife	ライセンスの使用時間 (秒)。ライセンスがリリースされた後のみ適用されます。
User	エントリに関連するアプリケーションのユーザ名。
Host	エントリに関連するアプリケーションのホスト名。
LSver	Sentinel RMS 開発キットのライセンスサーバのバージョン。
Currency	トランザクション中に処理されたライセンス数。(暗号化レベルが 3 または 4 に設定されている場合、暗号化されます)。
Comment	ライセンスアプリケーションによって渡されるテキスト。

表 2: ログファイルのエレメント

一般的なエントリは次のようになります。

```
# Startup Sentinel RMS Development Kit v7.00 Fri Aug 13 17:33:31
1999 934590811 jsmith 140 4294489039

2 0 MTI1 Fri Aug 13 17:33:33 1999 934590813 99 v 0 1 0 jsmith
jsmith 7.00 1 - MA== 754986 OTM1MzQ1Nzk5

2 0 MTI1 Fri Aug 13 17:33:33 1999 934590813 99 v 2 0 0 jsmith
jsmith 7.00 1 - MQ== 905242 MTY2MDIyOA==

# Shutdown Sentinel RMS Development Kit v7.00 Fri Aug 13 17:33:34
1999 934590814 jsmith 4294489039 Mg== 2058783
```


IAR License Manager に関するリファレンス情報

本章では、IAR システムズ製品のライセンスを管理するツールの IAR License Manager の使用方法について説明します。

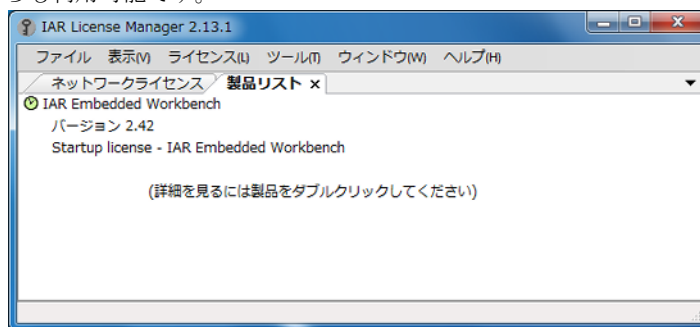
リファレンス情報

このセクションでは、以下のウィンドウおよびダイアログボックスのリファレンス情報を提供します。

- 45 ページの *IAR License Manager* のメインウィンドウ
- 49 ページの [使用可能な更新] ダイアログボックス
- 50 ページの [ライセンス更新のチェック] ダイアログボックス
- 52 ページの [ライセンス詳細] ダイアログボックス
- 54 ページの [サーバ] ダイアログボックス

IAR License Manager のメインウィンドウ

IAR License Manager は、IAR システムズ製品の [ヘルプ] メニューから使用できます。また、IAR License Manager は Windows の [スタート] メニューからも利用可能です。



このウィンドウを使用して、IAR システムズ製品のライセンスを管理します。

[ファイル] メニュー

このコマンドに表示されるコマンドは以下のとおりです。

終了 IAR License Manager を終了します。

[表示] メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

更新 ネットワーク ライセンスの使用情報や dongle のステータスなどを更新します。これは、15 秒おきに自動的に行われます。

製品リスト 表示エリアの **[製品リスト]** ページを開きます。このページにはインストールされたすべての製品がリストされます。リストで製品をダブルクリックすると、その製品のライセンスに関する詳細な情報が入手できるダイアログボックスが表示されます (52 ページの **[ライセンス詳細]** ダイアログボックスを参照)。

ネットワーク ライセンス 表示エリアの **[ネットワークライセンス]** ページを開きます。このページには使用可能なすべてのネットワークライセンスがリストされます。

ネットワーク ライセンス ユーザ 表示エリアの **[ネットワークライセンス ユーザ]** ページを開きます。このページには、ネットワークライセンスを使用するローカルネットワーク上のすべてのユーザがリストされます。

dongle リスト 取り付けられたすべての dongle が一覧表示されるダイアログボックスを表示します。

[ライセンス] メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

ライセンスの有効化 License Wizard を起動して、ライセンス番号によってライセンスを有効化します。

ネットワーク ライセンスの使用 License Wizard を起動して、ライセンス サーバからネットワーク ライセンスの使用を開始します。

評価用ライセンスの取得 License Wizard を起動して、評価用ライセンスを入手します。

ライセンス詳細	[ライセンス詳細] ダイアログボックスを表示します (52 ページの [ライセンス詳細] ダイアログボックスを参照)。
サーバ	[サーバ] ダイアログボックスを表示します。これには、自動的に識別されたサーバと手動で追加されたサーバがすべてリストされます。54 ページの [サーバ] ダイアログボックスを参照してください。
ライセンス更新のチェック	[ライセンス更新のチェック] ダイアログボックスを表示します (50 ページの [ライセンス更新のチェック] ダイアログボックスを参照)。
ライセンス移動	[ライセンス移動] ダイアログボックスを表示します。ここでは、別のコンピュータに移動する PC 固定ライセンスを選択できます。このコマンドは、1 年に限られた回数しか実行できない点に注意してください。
オフライン有効化	ライセンスサーバがインターネットにアクセスできないときに、ライセンスを有効化するためにウィザードを起動します。 詳細については、28 ページの オフライン時のライセンスのアクティベーション を参照してください。
オフライン ライセンス移動	ダイアログボックスが表示され、ここではコンピュータがインターネットに接続されていない場合でも、ライセンスを無効化できます。通常は、ライセンスを別のコンピュータに移動する場合にこれを行います。 詳細については、33 ページの オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する を参照してください。

[ツール] メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

オプション	[オプション] ダイアログボックスが表示され、以前に無効化されたすべてのダイアログボックスを再び有効化できます。
オプションのパッケージを抽出	製品に付属のソースコードライブラリを抽出します。

【ウィンドウ】メニュー

このコマンドに表示されるコマンドは以下のとおりです。

閉じる IAR License Manager のメイン ウィンドウの表示エリアで現在選択されたページを閉じます。

【ヘルプ】メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

診断情報を収集 **【診断情報を収集】** ダイアログボックスを表示して、診断情報の収集を開始します。このダイアログボックスに進行状況が表示されます。完了したら、**【結果を参照】** をクリックして情報を閲覧します。一般的に、この情報は IAR サポートに連絡するとき役に立ちます。

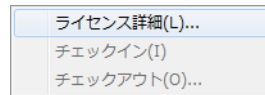
インストールとライセンス・クイックリファレンス インストールとライセンス・クイックリファレンスのブックレットを PDF として開きます。

ライセンスガイド **ライセンスガイド**を PDF として開きます。

製品情報 IAR License Manager に関する情報を表示します。

【コンテキスト】メニュー（製品リスト）

このコンテキストメニューは **【製品リスト】** ページで使用できます：



以下のコマンドがあります。

ライセンス詳細 **【ライセンス詳細】** ダイアログボックスを表示します (52 ページの **【ライセンス詳細】** ダイアログボックスを参照)。

チェックイン コミュータ承認で以前にチェックアウトしたネットワークライセンスをチェックインします。

チェックアウト コミュータ承認によりネットワーク ライセンスをチェックアウトします。つまり、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用できます。

コンテキストメニュー（ネットワークライセンス）

このコンテキストメニューは [ネットワークライセンス] ページで使用できます：



次のコマンドを使用できます。

削除

選択したネットワークライセンスをサーバから削除します。これはライセンスサーバコンピュータ上でのみ実行できます。

[使用可能な更新] ダイアログボックス

[使用可能な更新] ダイアログボックスは、[ライセンス更新のチェック] ダイアログボックスで [選択されたライセンスをチェック] ボタンがクリックされると表示されます。



このダイアログボックスには、[ライセンス更新のチェック] ダイアログボックスで選択されたライセンスで使用可能なあらゆる新しいバージョンが一覧表示されます。

IAR License Manager は IAR システムズにアクセスして、ローカルのライセンスが最新かどうかをチェックします。使用可能な新しいバージョンがあった場合、それらを更新することができます。

35 ページの [ネットワークライセンスの更新](#) も参照してください。

表示エリア

以下の列にライセンスがリストされます。

チェックボックス 更新するライセンスを選択します。

ライセンス番号 製品のライセンス番号。

製品 製品名。

コメント ライセンスの情報。

ボタン

選択された更新 選択されたライセンスを更新します。

【ライセンス更新のチェック】ダイアログボックス

【ライセンス更新のチェック】ダイアログボックスは、IAR License Manager の【表示】メニューから使用できます。



このダイアログボックスには、ローカルマシンにインストールされた IAR システムズ製品で現在使用中のライセンスと、ローカルのライセンスサーバにインストールされたライセンス（該当する場合）が一覧表示されます。

35 ページのネットワーク ライセンスの更新も参照してください。

表示エリア

以下の列にライセンスがリストされます。

チェック	新しいライセンスをチェックするライセンスを選択して、 [選択されたライセンスをチェック] をクリックします。新しいライセンスがある場合は、 [使用可能な更新] ダイアログボックスが表示されます。
ライセンス番号	製品のライセンス番号。
製品	製品名。
有効期限	ライセンスの有効期限。
コメント	ライセンスの情報。

未使用のライセンスを表示

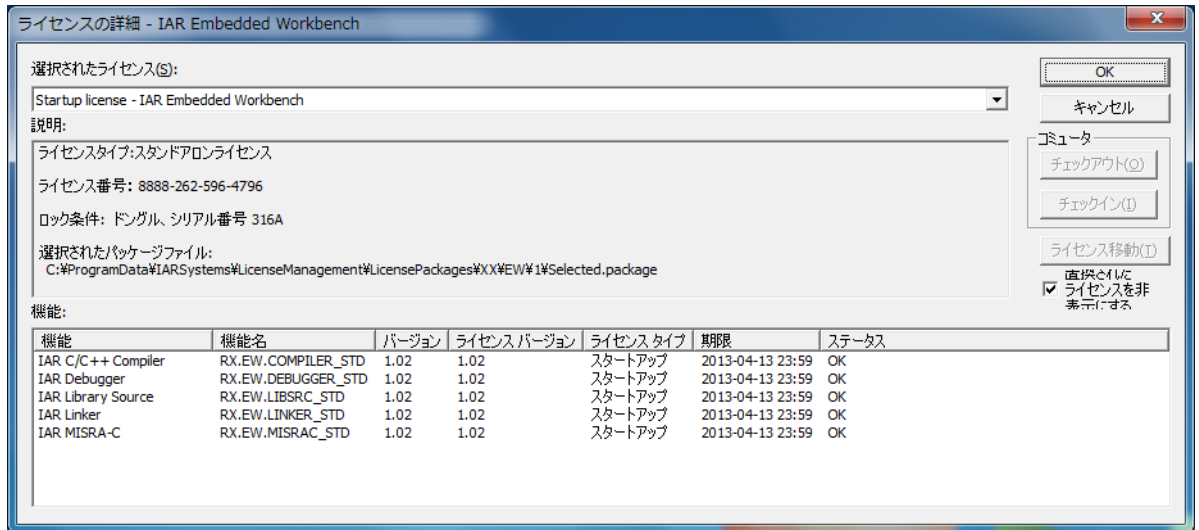
未使用のライセンス、つまり現在選択されていないライセンスもリストされます。このオプションは通常、IAR システムズのサポートから届いた仮のライセンスを使用する場合に便利です。更新が届いたときに、通常の更新ライセンスを選択する前にこのオプションを選択する必要があります。

ボタン

選択されたライセンスを **[チェック]** 列で選択したライセンスに使用可能な新しいライセンスがあるかどうかをチェックします。

【ライセンス詳細】 ダイアログボックス

【ライセンス詳細】 ダイアログボックスは、IAR License Manager の【製品リスト】で選択した製品をダブルクリックすると表示されます。



このダイアログボックスを使用して、使用可能なライセンスを選択し、選択したライセンスの詳細情報を入手します。

選択したライセンス

この製品および使用可能なネットワーク ライセンスについて有効化したすべてのライセンスをリストします。使用するライセンスを選択します。

説明

選択したライセンスの詳細な情報をリストします。

機能

製品でライセンスの取得が可能なすべての機能と、これらの列のライセンスのステータスを表示します：

機能	機能名
機能名	内部の機能名。
バージョン	インストールされた製品コンポーネントの機能バージョン。

ライセンスバージョン	ライセンスのバージョン。インストールされた機能のバージョンと同じか、それ以上である必要があります。
ライセンスタイプ	ライセンスタイプ。
期限	以下のいずれかになります： 期間限定ライセンスの場合は期間終了日 永久ライセンスの場合は PERMANENT（永久）。
ステータス	ライセンスのステータス。OK またはエラーメッセージです。

ボタン

以下のボタンを選択できます。

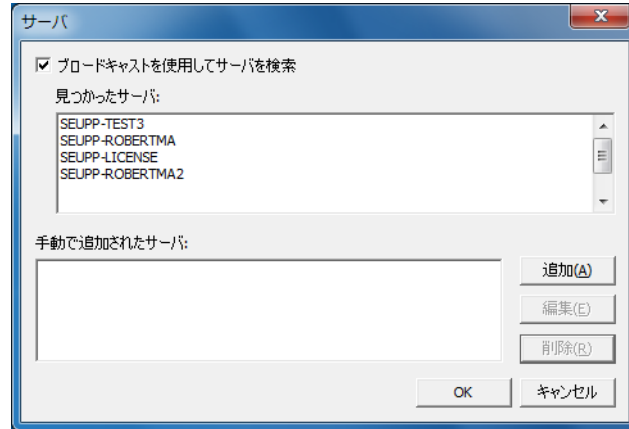
チェックアウト	コンピュータ承認によりネットワークライセンスをチェックアウトします。つまり、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用できます。
チェックイン	コンピュータ承認で以前にチェックアウトしたネットワークライセンスをチェックインします。
ライセンス移動	選択したライセンスを無効化します。つまり、別のコンピュータでそれを有効化できます。このコマンドは、1 年に限られた回数しか実行できない点に注意してください。

置換したライセンスの非表示

置換したライセンスを非表示にします。ライセンスは、更新時に置換されません。たとえば、スタートアップライセンスを永久ライセンスと置換したり、より新しいバージョンを有効化したときなどです。置換したライセンスはそのまま使用可能である点に注意してください。

【サーバ】 ダイアログボックス

【サーバ】 ダイアログボックスを開くには、IAR License Manager で【ライセンス】 > 【サーバ】 を選択します。



このダイアログボックスを使用して、何らかの理由で IAR License Server が自動的に検出しないライセンスサーバを手動で指定します。

手動で追加した既存でないサーバは、IAR License Manager で応答時間が大幅に長くなります。

ブロードキャストを使用してサーバを検索

ブロードキャストを有効にして、サブネット上でサーバを自動的に検索します。このオプションを無効化すると、使用するサーバを手動で追加する必要があります。自動的に見つかったサーバへのすべての参照は削除されます。

検出されたサーバ

自動的に検出されたライセンスサーバをリストします。

手動で追加されたサーバ

手動で追加されたライセンスサーバをリストします。

ボタン

以下のボタンを選択できます。

追加 ライセンスサーバをリストに追加します。【追加】をクリックして、追加するライセンスサーバの名前または IP 番号を入力します。

編集

すでに追加されたライセンスサーバの名前を編集します。ライセンスサーバを編集するには、ライセンスサーバを選択して **【編集】** をクリックします。

削除

すでに追加されたライセンスサーバを削除します。ライセンスサーバを削除するには、ライセンスサーバを選択して **【削除】** をクリックします。

ライセンスの概念

この章では、ライセンスに関する用語を列記します。

コンピュータ承認

サーバからチェックアウトでき、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用可能なネットワーク ライセンス。

資格

ライセンスで使用可能な対象。つまり、有効になる機能および使用可能な期間です。

評価用ライセンス

期間または機能が限定されている無料のライセンス。期間限定の評価用ライセンスの場合、特定のコンピュータ上で同じ製品のバージョンのみを評価できません。

機能

ライセンスの対象に応じて有効または無効にされる、インストールされたソフトウェアの機能。機能ごとに1つのライセンス キーがあります。

ライセンスの有効化

IAR システムズからライセンス キーを取得する手順。

ライセンス キー

ライセンスが使用対象を検証できるようにする情報を含む文字列。

ライセンス番号

ライセンスの固有な ID。ライセンスの有効化および IAR システムズのサポートに連絡する際に使用します。

ライセンス パッケージ

ファイルに保存されたライセンス キーとライセンス情報。ライセンス パッケージは、ライセンスを有効化するとコンピュータ上に作成されます。

ライセンス登録

すべてのライセンスを IAR システムズに登録する必要があります。登録時に、ライセンス所有者の連絡先情報（特に電子メール）が記録されます。登録手続きの最後に、メールアドレスが正しいか確認するために、登録されたアドレスに電子メールが送信されます。

ライセンス サーバ

IAR ライセンス サーバがインストールされている PC。

ライセンス移動

別のコンピュータでもう一度有効化するためにライセンスを無効化して、IAR システムズに返還すること。

モバイルライセンス

dongle にロックされたシングルユーザ ライセンス。dongle が取り付けられていると、製品がインストールされているどのコンピュータでも使用できます。

ネットワーク ライセンス

ライセンス サーバ コンピュータ上にあるマルチユーザライセンス。このライセンスは、ローカル ネットワーク上のどのコンピュータでも使用できます。

オフラインアクティベーション

ライセンスのアクティベーション 有効化には、IAR License Manager がインターネットを介して IAR システムズに接続する必要があります。これが不可能な場合、オフラインアクティベーションというもうひとつの方法があります。

PC 固定ライセンス

コンピュータのハードウェアにロックされたシングルユーザライセンスで、このコンピュータのみで使用できます。

永久ライセンス

期間に制限のないライセンス。

製品

製品とは IAR システムから購入したものを指します。インストールしたソフトウェア、ドキュメント、dongle（任意）だけでなく、ソフトウェアの数多くの機能が使用できるライセンス パッケージです。

スタートアップライセンス

新しく購入した製品を有効化するとすぐに取得できる、
期間限定のライセンス。

A

Activate License (License メニュー).....46

C

Check for License Renewal (License メニュー).....47

Collect Diagnostic Information (Help メニュー).....48

C++ 用語.....6

D

Dongle List (View メニュー).....46

G

Get Evaluation License (License メニュー).....46

H

Help メニュー (IAR ライセンス マネージャ).....48

I

IAR License Manager のメイン ウィンドウ.....45

IAR システムズの Web サイト.....6

IAR 技術サポート.....6

IAR 製品、クライアントコンピュータへの

インストール.....24

L

License Details (License メニュー).....47

License Transfer (License メニュー).....47

lightbulb アイコン、本ガイドの.....7

LSERVOPTS (環境変数)

 コミュニタライセンスの最大数.....28

 ロギングの有効化.....41

N

Network License Users (View メニュー).....46

Network Licenses (View メニュー).....46

O

Offline Activation (License メニュー).....47

P

PC 固定ライセンス.....10

 定義.....57

Product List (View メニュー).....46

Product List コンテキストメニュー.....48

U

UDP、トラフィックのブロック解除.....19

Use Network License (License メニュー).....46

W

Web サイト、IAR システムズ.....6

あ

アップデート

 クライアント コンピュータ上の製品.....36

 ライセンスサーバ.....35

い

インストール

 クライアントコンピュータへの IAR 製品.....24

 ネットワーク ライセンス.....15

 ライセンス サーバ.....16

 製品のアップデート.....35

インストールするコンポーネント、選択.....	24
インストール先ディレクトリ.....	6

う

ウィンドウメニュー (IAR License Manager)	48
---------------------------------------	----

お

オプションのパッケージを抽出 ([ツール] メニュー)	47
オフラインアクティベーション、定義.....	57
オフラインライセンス無効化 ([ライセンス] メニュー).....	47

く

クイックレファレンスのブックレット.....	5
クライアントコンピュータ	
IAR 製品のインストール	24
システム要件	12
製品のアップデート	36

こ

このガイドで使用されている規則.....	6
コマンドラインオプション、表記規則.....	7
コンピュータ承認	12
チェックアウト	28
最大数.....	28
定義.....	57
コンピュータスタイル、表記規則.....	7

さ

サーバ ([ライセンス] メニュー).....	47
サーバダイアログボックス.....	54

し

システム管理者	5
システム要件	
クライアント コンピュータ.....	12
ネットワーク ライセンス.....	12

す

スタートアップライセンス、定義.....	58
----------------------	----

そ

ソフトウェア販売代理店.....	6
------------------	---

た

タイプ、ライセンス	10
-----------------	----

ち

チェックアウト ([製品リスト] コンテキストメニュー).....	48
チェックイン ([製品リスト] コンテキストメニュー).....	48

つ

ツールメニュー (IAR License Manager)	47
-------------------------------------	----

て

テクニカルノート	6
----------------	---

と

ドングル	
ライセンス サーバ パッケージに同梱	11
ロックされたモバイル ライセンス	10

ね

ネットワーク ライセンス	
インストール	15
システム要件	12
概要	10
手動でポイント	34
製品アップグレードのインストール	35
他のライセンス サーバ コンピュータへの 移動	37
定義	57
ネットワークライセンスのコンテキストメニュー	49
ネットワーク管理者	5

は

パラメータ、表記規則	7
バージョン番号、本ガイド	2

ふ

ファイルメニュー (IAR License Manager)	46
ブロードキャスト	12
ブロードキャストを使用してサーバを検索 ([サーバ] ダイアログボックス)	54

へ

ベンダ、ソフトウェア	6
------------	---

も

モバイル ライセンス	10
定義	57

ら

ライセンス キー、定義	57
ライセンス サーバ	
インストール	16
定義	57
ライセンス パッケージ、定義	57
ライセンスサーバ	10
アップデート	35
コンピュータのシステム要件	12
ネットワーク要件	12
手動による起動と停止	38
ライセンスサーバのネットワーク要件	12
ライセンスのアクティベーション	
オフライン時	28
ネットワーク	20
ライセンスのタイプ	10
ライセンスの移動	
オフライン時	33
ネットワーク	37
ライセンスの有効化、定義	57
ライセンスメニュー (IAR License Manager)	46
ライセンス移動	
オフライン時	33
ネットワーク	37
定義	57
ライセンス詳細ダイアログボックス	52
ライセンス登録、定義	57
ライセンス番号、定義	57

り

リリースノート6

記号

[ライセンス更新のチェック] ダイアログボックス ..50